

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・社長は会社のあるべき姿を常に従業員に説明し共有している。 ・従業員は、職務上の責任を自覚し、切実に職務を遂行するとともに、会社の指示命令に従い、同僚とも相互に協力して職務効率の向上及び職場秩序の維持に努め、社業の発展に貢献するよう取り組んでいる。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・従業員は、教育訓練の他、会社が実施する就業規則を遵守し、各種法令遵守等の研修会への参加を積極的に行っている。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないかチェックしている。 ・作成する見積りを社長がチェックし、不正に関与しないよう取り組んでいる。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各現場は監督を配置し、施工体制を整え、社長が責任となり進めている。 ・自社の産業廃棄物置場は、社長が責任者となり、分別を徹底し定期的に清掃している。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の漏えい防止、他社の知的財産を侵害しないようニュース等の事例を共有し、社員に周知している。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は書庫を施錠し保管している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客への宣伝・広告等の定期発信、また24時間コールセンターと連携し、顧客の声を大事にし、双方コミュニケーションに取り組んでいる。 ・取引先や行政機関とも、適時適正な情報開示やパートナー交流会等を行い、信頼関係を構築し連携した取り組みを進めている。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16		17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16		17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・取締役会等を通じて、後継者候補に対しマネジメント・情報交換等を行っている。									8	9								17	
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16		17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント防止について、就業規則を基に従業員全員で共有し、人権侵害のない社内体制を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・作業中の熱中症対策として、飲料・塩分の支給を行っている。 ・朝礼にて、けが・事故の注意喚起を行っている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・嘱託又は臨時・パート)の公正な待遇を行っている。 ・同一労働同一賃金等に関し、「賃金規定」を設けており遵守している。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・所定労働時間の管理徹底や、有給休暇・代休(振替)等の取得奨励を実施し、家事や育児、地域活動への参加などの環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部での各種研修及び講習会への必要経費を支給し、受講や資格を取得する事を推奨している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎週の朝礼時に、災害や事故等への注意喚起や健康推進への取り組みの促進を行っている。 ・従業員には毎年定期的に健康診断を行い、経費補助を行っている。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・求人は男女とも行っている。 ・高齢者の雇用を行っており、活躍できるようにしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・会議や講習会等は、必要に応じてウェブ会議やオンライン講習会等ネットワークを利用している。 ・感染症対策として、空気清浄機を必要数設置し、社内の定期的な窓開け(換気)を行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12						

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 松本建設株式会社			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・会社及び現場ごとに排出される廃棄物の分別を徹底し、管理・処分している。 ・オーガニック地盤保障【BIOS】の認定を受けており、環境汚染の心配のない安全な地盤を提供できるよう取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・自社エネルギー使用量は、簡易計算シートを用いて算出し把握している。 ・昼休憩及び無人エリアの冷暖房機具と照明器具の電源オフ、社屋全体の照明のLED化を実施している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2の排出量は、簡易計算シート等を用いて算出し把握している。 ・エアコンの適温化を行い、室温管理に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・協力会社と連携し、各現場の産業廃棄物の分別、騒音対策に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化(データ化)、裏紙の利用、使用済み備品等の再使用を促進し、ダンボール等のリサイクル品は、地域のリサイクルBOXへ提出している。 ・顧客への修理や点検等の定期的な通知によりアフターサービスを充実することで、製品の長期使用促進に取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水機能を備えたトイレの設置・利用により、水の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品を購入する際は、グリーン購入をしている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・エコハウジングプロジェクトを通じて、住まいのエネルギー効率を最適化し、損失を抑えることで資源の節約に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・資材・産廃置場の一部に、樹木を植えている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・産廃の分別を徹底し、海洋ごみ・汚染の防止に取り組んでいる。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を推進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：松本建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各種リフォーム及び新築完成後の引渡しの際には、顧客に対し安全確保を踏まえた十分な説明と共に取扱説明書を提出している。 ・24時間コールセンターと連携し、サービス向上の為、顧客の意見を聞き、関係者で共有、対応している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープや手すりの設置、バリアフリー等を推奨し、誰もが生活しやすい環境が持続できるよう顧客へ提供している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・各仕入業者と連携し、県産の材料を優先的に使用するよう取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域事業者として、自治会活動やボランティア等の社会貢献活動に積極的に参加している。 ・地域のお祭り等への寄付も積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・過去の災害(地震や水害・土砂崩れ等)の経験を踏まえて、社内にハザードマップ一式を掲げており、従業員に周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域事業者として、地域防災の担い手としての認識と責任を持ち、地域の消防団への加入も行っており、地域消防団としての活動にも積極的に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地域の学校と連携し、高校生のインターンシップを積極的に受け入れており、地域の学生に対し、職業の学びの場を積極的に提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地域の学校と連携し、地域人材の雇用について、地元高校を積極的に訪問し、地域の生徒を継続的に採用するよう取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。